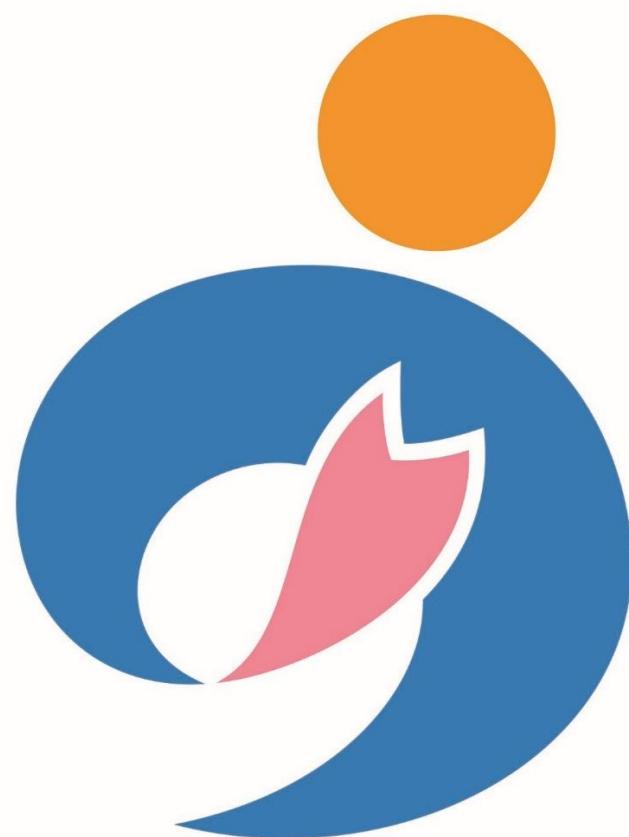


令和7年12月補正 予算事業説明書



税務課



款	2	総務費	項	2	徴税費	目	1	税務総務費	会計名	一般会計				
事業名	3	税務総務事務費				所属名	税務課							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町税及び町税の納税義務者											
	意図 (対象をどうするか)		適正・公平な課税を行う。											
	成果の視点 (どのような効果があるか)		課税客体の正確な把握により、適正・公平な課税を行う。											
予算状況		補正前の額	7,955 千円	補正額	545 千円	計	8,500 千円	総合計画における位置づけ ①開かれた町政と自治協働の推進 「4つの挑戦」から見た位置づけ ①暮らしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち) 根拠法令・要綱等 地方税法 南部町税条例						

【提案理由】

事業所などから紙で提出される給与支払報告書のデータ入力を職員が手作業で行っているが、AI技術を活用したOCR技術によるデータ読み込みを行い、職員の事務負担の軽減及び住民・事業所サービスの向上を図るためにその経費を補正するもの。

【事業内容】

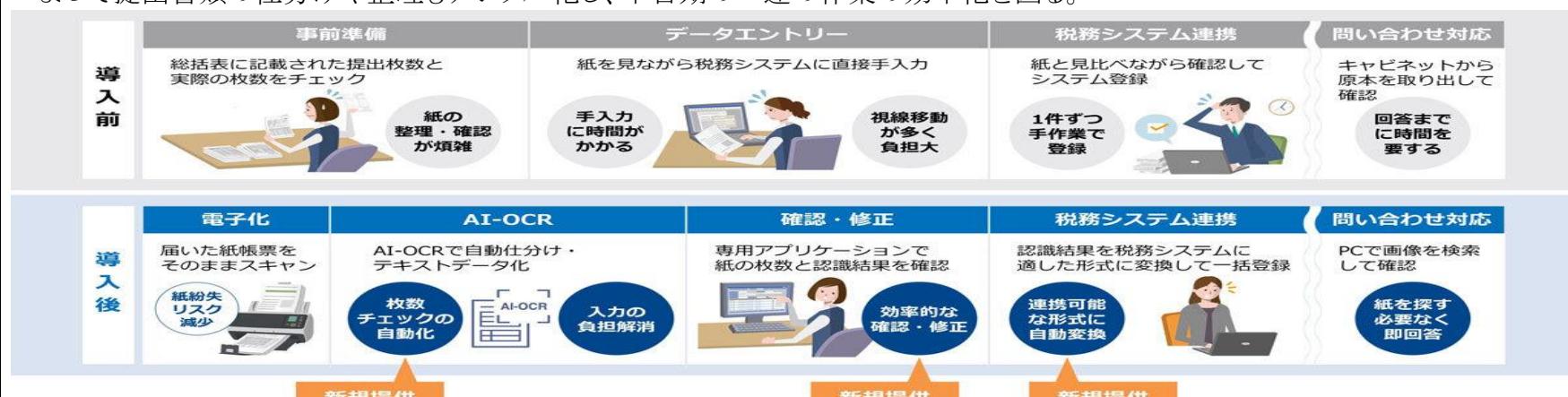
町税に係る課税事務に必要な経費の執行。

【状況】

事業所から毎年提出される約4,000枚近くの紙ベースの給与支払報告書は、2月15日から始まる確定申告相談までに手作業によるデータ入力とチェックを終えなければならないが、そのほとんどが1月下旬以降に提出が集中するため、データ入力とチェック作業を短期間で行わなければならず、例年、通常業務を圧迫し税務課職員の負担となっている。さらに、提出された給与支払報告書の内容に疑義や不備等があった際には、町から事業所へ確認・修正依頼し、事業所は従業員への確認及び町への報告を期限までに行う必要があるため、町の確認作業に時間を要すほど事業所にも負担をかけてしまうという問題がある。

【対応策】

AI-OCRを導入し、現在手作業で行っている総合行政システム登録前のデータ入力作業を自動化する。さらに、同システム導入によって提出書類の仕分けや整理もデジタル化し、申告期の一連の作業の効率化を図る。



【委託料】

システムライセンス利用料	200,000 円
保守パッケージ	100,000 円
ソフト一式	10,000 円
消費税	31,000 円
計	341,000 円

(歳入内訳 単位:千円)

【備品購入費】

スキャナ(保守含む)	1台	185,000 円
消費税		18,500 円
計		203,500 円

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科 目 名 称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
				10 需用費	300	0
				11 役務費	222	0
				12 委託料	5,875	341
				13 使用料及び賃借料	115	0
				17 備品購入費	0	204
	一般財源	7,955	545	18 負担金補助及び交付金	1,443	0
	計	7,955	545	計	7,955	545

有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)	【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】
		AI-OCR読み取りにより、給与支払報告書の内容をシステムへ手入力する時間と負担が解消される。 手入力による転記ミスが無くなり、AI-OCR読み取り後のチェックも簡単にできるため、これまで以上に正確な課税データをシステムに登録することができる。また、効率化により生み出された時間を、給与支払報告書提出事業所への速やかな連絡や通常業務対応に活用することで、職員の負担軽減及び町民・事業所へのサービス向上を見込む。